

## よこすか訪問看護ステーション

風のたより 46号 R7年12月 発行

季節のうつろいを感じ、本格的な寒さが訪れ、決まって季節は廻ってくるなと感じながら、訪問している今日の頃です。寒くなり感染症が流行りだしました。重要な

在宅ケア講演会

恩蔵絢子さん 講演会

認知症になっても失われないもの  
～感情が作る「その人らしさ」に寄り添う～

認知症の母親を育てた恩蔵絢子さんは、脳科学者としても母親を育てました。そして、認知症患者の持つ「感情」の中には、なかなか変わらない「その人らしさ」が残っていることを発見します。「脳科学者もみた認知症」について、ご自身の経験と科学的知見を語っていただきます。

日時：令和7年10月12日（日）

14:00～15:30（受付開始13:15～）

会場：ヴェルクよこすか 6階ホール

横須賀市日の出町1-5（京急横須賀中央駅から徒歩7分）

参加費無料 定員150名（先着・事前申込制） 手話通訳・要約筆記あり

申込先：（公財）横須賀市健康福祉財団

TEL：046-824-3232（受付時間 平日 9:00～17:00）

ホームページ：https://yokosuka-kfz.or.jp

ホームページからのお申し込みはこちら



講師：恩蔵 絢子 氏

脳科学者(学術博士) 東京大学大学院 特任研究員

1979年神奈川県生まれ。専門は自己意識と感情。2007年東京工科大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了。著書は『脳科学者の母が、認知症になる 記憶を失ふと、その人は「その人」でなくなるのか?』（河合書院新社）などがある。2023年1月には母親との家での時間は非常に貴重なドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映された。

主催：公益財団法人横須賀市健康福祉財団 共催：横須賀市

なのは「感染しないこと」まず予防に努めてまいりましょう。

10/12(日)講演会がありました。131名の参加がありました。ご参加頂きありがとうございました。

公益財団法人・横須賀市健康福祉財団  
よこすか訪問看護ステーション  
編集 富樫 本吉 上原



## 冬に流行しやすい代表的な感染症 インフルエンザ

38℃以上の高熱、頭痛、関節痛。鼻水、咳、喉の痛みも。全身の倦怠感が伴う。

## 感染性胃腸炎(ノロウイルス)

嘔吐や下痢！大変感染力が高く、ワクチン也没有せん。

## RS ウイルス

鼻水、くしゃみ、発熱、喉の痛みなど風邪と似ています。

寒い「冬」に流行しやすくなります。

温度が低いこと

空気が乾燥していること

体温が下がること



## 基本的な予防対策

うがい 手洗い 手指の消毒 マスクの着用



参考資料：予防したのに...気をつけたい感染症 | サワイ健康推進課

Hello Angel.



# さあ、いっしょに手をあらおう!

1



せっけんをよく  
あわだてて

2



てのこうを  
モミモミ

3



ゆびのあいだも  
モミモミ

4



おやゆびにぎって  
グリグリ

はんたいも  
わすれずにね!



8



きれいにふいて  
おしまい!

7



しっかり  
あらいながして

6



てくびにぎって  
グリグリ

5



てのひら・ゆびさき  
ゴシゴシ

ぴっか  
ぴか

